事業No.:

357

I. 建設事業の目的体系

1	事	業		名	小学校i	耐震	補強事業				コート゛	01	10	02	01	04
2	担	当	部	課	教育部			学校教	育課							
	上位	なの政策	策∙旅	拖策	章	1	安心して暮らせる福祉のまちづくり	大項目	3	未来を創造	造する	子ども	達			
3	(目)	的体系	の研	笙認)	中項目	2	学校教育	小項目	2	義務教育						

	(Do)建設事業の内容							
1	誰のために(受益者)	小学校の児童、教諭及び施設利	用者					
2	働きかける相手(対象)	旧建築基準で建設された校舎及	び体育館					
3	どのような状態に したいのか(意図)	建物の耐震性能を確保し、地震	防災対策の低	足進を図りる	ます。			
	工事・路線名	小学校耐震補強事業						
	工事期間	平成 10 年度~平成 22 年度	平成 4	年度~平成	年度	平成	年度~平成	年度
	全体工事概要	H10音小北, H14高小南, H15春小 体育館, H16諸小北, H17春小 南, H18諸小南, H20東小東 西, H22諸小体育館, 音小体育 館, 高小体育館						
4 評価対象年度にどのようなことを実施	評価年度の実施内容	諸小体育館、音小体育館、高 小体育館の耐震診断、実施設 計を行いました。 面積 880㎡ (諸小体育館) 880㎡ (音小体育館) 943㎡ (高小体育館)						
ようなこ	予定全体事業量 [A]	24,077.00 m ²						
ことを	評価年度までの 事業量 [Σa]	21,374.00 m ²						
夫施した	事業量の進捗率 [Σ a/A]	88.8 %			%			%
にのか	予定全体直接事業費 [B]	887,992,988 円			円			円
	評価年度までの 直接事業費 [Σ b]	823,784,950 円			円			円
	事業費の進捗率 [Σ b/B]	92.8 %			%			%
	評価年度の事業量 [a]	0.00 m²						
	評価年度の 直接事業費[b]	8,182,650 円			円			円
	事業量1単位当たり 直接事業費 [b/a]	0 円			円			円
5	直接事業費計	前年度決算額	81,659,550)円 決	算額		8,182,6	50 円

6	項	目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
	直接事業費①	(2+3+4)	81,659,550	8,182,650	93,904,000
スト		一般財源②	95,550	8,182,650	4,813,000
の推移		起 債 ③	42,400,000	0	42,800,000
移		その他 ④	39,164,000	0	46,291,000
	概算人件	費 ⑤	1,712,358	1,722,711	
	総合計(①	+ ⑤)	83,371,908	9,905,361	
	町費投入額(2+3+5)	44,207,908	9,905,361	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	小学校耐震補強事業	
1 証 体 の 坦 上	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES 🗹 NO 🗌
1 評価の視点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES ✔ NO 🗌
把握された問題点、 2 改善可能事項等	東海地震及び東南海地震において、マグニチュード7.0程度の規模の地震が予想されるので、地震防災上緊急に整備をする必要があります。	が発生し甚大な被害が
3 建設事業評価コメント	東海地震強化地域に指定され、学校施設が避難所の指定を受けているので、 補強対策が必要です。	. 校舎・体育館の地震
工事・路線名 (2)		
1 証 圧 の 担 上	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES 🗌 NO 🗌
1 評価の視点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES NO
把握された問題点、 2 改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		
工事・路線名 (3)		
	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES NO
1 評 価 の 視 点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES NO
把握された問題点、 2 改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		
IV. (Action)改革・改善の内容		

	学校施設の耐震化の早期完了を目指します。
改 善内 容 (課題への対応)	

事業№.:

358

I. 建設事業の目的体系

1	事	業	ŧ	名	兵庫小	学校	建設事業				コート゛	01	10	02	01	99
2	担	当	部	課	教育部			学校教育	育課							
2	上位	立の政	策・抗	拖策	章	1	安心して暮らせる福祉のまちづくり	大項目	3	未来を創造	造する	子ども	達			
٥	(目	的体系	系の研	隺認)	中項目	2	学校教育	小項目	2	義務教育						

1 誰のために(受益者) 新設小学校学区の児童 10.877.00 m 10.877.00 m 平産 全体 事業 置 [Σ a/A] 10.987.00 m 平東 変の 進捗率 震 [[Σ b/B] 1.541.708.448 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円		(DO)建設学来の77日					
3 どのような状態にしたいのか(意図) 小学校校舎、体育館、ブール、児童館他を建設します。 エ事期間 平成16年度~平成33年度 平成年度 平成年度 平成年度 平成年度 平成年度 全体工事概要	1	誰のために(受益者)	新設小学校学区の児童 				
3 とのような状態にしたいのか(意図) エ事・路線名 エ事・路線名 エ事期間	2	働きかける相手(対象)	SPC (PFI契約会社)				
エ 事・路 線 名 エ 事 期 間 平成 16 年度~平成 33 年度 中成 年度~平成 年度 平成 年度~平成 年度 FPCが小学校校会、体育館、プール、児童館等を建設しました。 「	3		小学校校舎、体育館、プール、」	見童館他を建設し	ます。		
全体工事概要 SPCが小学校校舎、体育館、ブール、児童館等を建設しました。 技会9.271㎡、屋内運動場 1.143㎡、屋外水泳ブール、児童館463㎡の購入 評価年度の実施内容 下定全体事業量 [A] 10.877.00㎡ 評価年度までの事業量 [Sa] 10.877.00㎡ 予定全体直接事業費 [B] 2.425.887.286円 円 評価年度までの直接事業費 [Sb] 1.541.708.448 円 円 事業の進捗率 [Sb] 63.6% % 評価年度の事業量 [a] 0.00㎡ 評価年度の事業量 [b] 73.247.563 円 円 再業量単位当たり 直接事業費 [b/a] 0 円 円		工事・路線名	新設小学校施設整備事業				
全体工事概要 プール、児童館等を建設しました。 技会9.271㎡、屋内運動場1,143㎡、屋外水泳ブール、児童館463㎡の購入 評価年度の実施内容 10,877.00㎡ 評価年度までの事業量[[2]] 10,877.00㎡ 事業量の進捗率[[2]] 100% 予定全体直接事業費[[8]] 2,425.887.286円 評価年度までの直接事業費[[5]] 1,541,708.448円 再業費の進捗率[[6]] 63.6% 評価年度の事業量[[3]] 0,00㎡ 評価年度の事業量[[4]] 0,00㎡ 事業費[[5] 73,247.563円 再開日本業費[[5]] 0円 再業量1単位当たり直接事業費[[6]] 0円 日 円 <td></td> <td>工事期間</td> <td>平成 16 年度~平成 33 年度</td> <td>平成 年度~</td> <td>平成 年度</td> <td>平成 年度</td> <td>~平成 年度</td>		工事期間	平成 16 年度~平成 33 年度	平成 年度~	平成 年度	平成 年度	~平成 年度
評価年度の実施内容 「A		全体工事概要	プール、児童館等を建設しま				
したのか 「Σ a/A] 100% % 予定全体直接事業費 [B] 2.425,887,286 円 円 円 評価年度までの直接事業費 [Σ b] 1,541,708,448 円 円 円 事業費の進捗率 [Σ b/B] 63.6% % % 評価年度の事業量 [a] 0.00 m² 円 評価年度の事業費 [b] 73,247,563 円 円 円 事業量1単位当たり直接事業費 [b/a] 0 円 円 円		評価年度の実施内容	1, 143㎡、屋外水泳プール、児				
したのか 「Σ a/A] 100% % 予定全体直接事業費 [B] 2.425,887,286 円 円 円 評価年度までの直接事業費 [Σ b] 1,541,708,448 円 円 円 事業費の進捗率 [Σ b/B] 63.6% % % 評価年度の事業量 [a] 0.00 m² 円 評価年度の事業費 [b] 73,247,563 円 円 円 事業量1単位当たり直接事業費 [b/a] 0 円 円 円	ようなこ		10,877.00 m²				
したのか 「Σ a/A] 100% % 予定全体直接事業費 [B] 2.425,887,286 円 円 円 評価年度までの直接事業費 [Σ b] 1,541,708,448 円 円 円 事業費の進捗率 [Σ b/B] 63.6% % % 評価年度の事業量 [a] 0.00 m² 円 評価年度の事業費 [b] 73,247,563 円 円 円 事業量1単位当たり直接事業費 [b/a] 0 円 円 円	ことを宝		10,877.00 m ²				
のか予定全体直接事業費 [B]2.425,887,286 円円円評価年度までの直接事業費 [Σ b]1,541,708,448 円円円事業費の進捗率 [Σ b/B]63.6%%%評価年度の事業量 [a]0.00 m²円円評価年度の直接事業費 [b]73,247,563 円円円事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]0 円円円	天施した		100%		%		%
直接事業費 [Σ b] 1,341,700,446 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	の		2,425,887,286 円		円		円
[Σ b/B] 63.6% % % % % % % % % % % % % % % % % % %		評価年度までの 直接事業費 [Σ b]	1,541,708,448 円		円		円
[a] 0.00 m 評価年度の直接事業費[b] 73,247,563 円 円 円 事業量1単位当たり直接事業費[b/a] 0 円 円 円			63.6 %		%		%
直接事業費[b] 73,247,563 円 事業量1単位当たり 直接事業費[b/a] 0円 円			0.00 m²				
直接事業費 [b/a]			73,247,563 円		円		円
5 直接事業費計 前 年 度 決 算 額 73,187,697 円 決 算 額 73,247,563 円			0円		円		円
	5	直接事業費計	前年度決算額	73,187,697 円	決 算 額		73,247,563 円

事業No.∶ 358

6	項	目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
	直接事業費①	(2+3+4)	73,187,697	73,247,563	73,308,815
スト		一般財源②	73,187,697	73,247,563	73,308,815
の推移		起 債 ③	0	0	0
移		その他 ④	0	0	0
	概算人件	麦 ⑤	180,970	173,324	
	総合計(①	+ ⑤)	73,368,667	73,420,887	
	町費投入額(2+3+5)	73,368,667	73,420,887	

III (Check)建設事業の評価

血. (Offeck)建設爭未仍計圖		
工事・路線名 (1)	新設小学校施設整備事業	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES ✔ NO □
1 計 1曲 02 悦 点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES 🗸 NO 🗌
把握された問題点、 2 改善可能事項等	特にありません。	
3 建設事業評価コメント	特にありません。	
工事・路線名 (2)		
4 = 7 0 4 5	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES 🗌 NO 🗌
1 評 価 の 視 点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES NO
把握された問題点、 2 改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		
工事・路線名 (3)		
	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES NO
1 評 価 の 視 点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES NO
把握された問題点、 2 改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		
TV (Astion)改革・改善の内容	•	

	特にありません。
改善内容	
(課題への対応)	

事業No.:

359

I. 建設事業の目的体系

1	事	業	Ė	名	中学校i	耐震	甫強事業				コート゛	01	10	03	01	04
2	担	当	部	課	教育部			学校教育	育課							
2	上位	位の政	策·抗	拖策	章	1	安心して暮らせる福祉のまちづくり	大項目	3	未来を創造	造する	子ども	達			
٥	(目	的体系	系の研	隺認)	中項目	2	学校教育	小項目	2	義務教育						

1	誰のために(受益者)	中学校の生徒、教諭及び施設利	——————— 用者			
2	働きかける相手(対象)	旧建築基準で建設された校舎及	 び体育館			
13	どのような状態に したいのか(意図)	建物の耐震性能を確保し、地震	防災対策の促進を	図ります。		
	工事・路線名	中学校耐震補強事業				
	工事期間	平成 13 年度~平成 21 年度	平成 年度~	平成 年度	平成 年度	~平成 年度
	全体工事概要	H13東郷中学校南校舎、H19 東郷中学校北校舎、H21東郷 中学校体育館				
4 評価対象年度にどのようなことを実施	評価年度の実施内容	東郷中学校屋内運動場の耐震 改修工事を行いました。 面積 2,652㎡				
ような	予定全体事業量 [A]	9,920.00 m²				
ことを宝	評価年度までの 事業量 [Σa]	9,920.00 m ²				
施した	事業量の進捗率 [Σ a/A]	100%		%		%
たのか	予定全体直接事業費 [B]	393,472,800 円		円		円
	評価年度までの 直接事業費 [Σ b]	393,472,800 円		円		円
	事業費の進捗率 [Σ b/B]	100 %		%		%
	評価年度の事業量 [a]	2,652.00 m ²	-			
	評価年度の 直接事業費[b]	86,027,550 円	-	円		円
	事業量1単位当たり 直接事業費 [b/a]	32,439 円		円		円
5	直接事業費計	前年度決算額	4,200,000 円	決 算 額		86,027,550 円

6	項	目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
	直接事業費①	(2+3+4)	4,200,000	86,027,550	0
スト		一般財源②	4,200,000	9,637,550	0
の推移		起 債 ③	0	0	0
移		その他 ④	0	76,390,000	0
	概算人件費⑤		1,521,112	2,748,622	
	総合計(①	+ ⑤)	5,721,112	88,776,172	
	町費投入額(2+3+5)	5,721,112	12,386,172	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価		
工事・路線名 (1)	中学校耐震補強事業	
1 評 価 の 視 点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES ✔ NO 🗆
1 計 1 の 依 点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES ✔ NO 🗌
把握された問題点、 2 改善可能事項等	特にありません。	
3 建設事業評価コメント	東海地震強化地域に指定されて学校施設が避難所の指定を受けているので 補強対策を完了しました。	、校舎・体育館の地震
工事·路線名 (2)		
1 =	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES 🗌 NO 🗌
1 評 価 の 視 点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES 🗌 NO 🗌
把握された問題点、 2 改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		
工事・路線名 (3)		
4 = T	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES 🗌 NO 🗌
1 評 価 の 視 点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES 🗌 NO 🗌
把握された問題点、 2 改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		
Ⅳ. (Action)改革・改善の内容		
改 善内 容 (課題への対応)		

事業No.:

360

I. 建設事業の目的体系

1	事	業	名	都市計画	画道記	洛整備事業				コート゛	01	08	02	02	02
2	2 担	当 部	部 課 経済建設部 建設課												
	, 上·	位の政策・旅	拖策	章	2	快適で活気あふれるまちづくり	大項目	1	快適でうるおいのある暮らし						
3)	的体系の確	笙認)	中項目	2	基盤整備	小項目	2	都市計画	道路					

Ⅱ. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人				
2	働きかける相手(対象)	都市計画道路				
13	どのような状態に したいのか(意図)	幹線道路の整備を図り、車両交通	通が円滑になるよ	うにします。		
	工事・路線名	東郷·三好線				
	工 事 期 間	平成 16 年度~平成 23 年度	平成 年度~	平成 年度	平成 年度~平成	年度
	全体工事概要	工事延長L=250m 用地取得A=2,840㎡、 公社買戻し				
4 評価対象年度にどのようなことを実施	評価年度の実施内容	用地取得(土地開発公社) 495.70㎡ (累計2013.94㎡)				
いような	予 定 全 体 事 業 量 [A]	250.00 m				
ことを	評価年度までの 事業量 [Σa]	130.00 m				
美施した	事業量の進捗率 [Σ a/A]	52 %		%		%
したのか	予定全体直接事業費 [B]	214,989,335 円		円		円
	評価年度までの 直接事業費 [Σ b]	99,455,185 円		円		円
	事業費の進捗率 [Σ b/B]	46.3 %		%		%
	評価年度の事業量 [a]	0.00 m				
	評価年度の 直接事業費[b]	22,104,334 円		円		円
	事業量1単位当たり 直接事業費 [b/a]	0 円		円		円
5	直接事業費計	前年度決算額	26,248,990 円	決 算 額	22,104,	334 円

6	項	目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
	直接事業費①	(2+3+4)	26,248,990	22,104,334	18,317,000
スト		一般財源②	26,248,990	22,104,334	18,317,000
の推移		起 債 ③	0	0	0
移		その他 ④	0	0	0
	概算人件費	麦 ⑤	2,473,722	3,176,209	
	総合計(①	+ ⑤)	28,722,712	25,280,543	
	町費投入額(2+3+5)	28,722,712	25,280,543	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

二. (6.166.10) と版字系の計画		
エ事・路線名 (1)	東郷·三好線	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES 🗹 NO 🗌
1 評 価 の 視 点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES ✔ NO 🗌
把握された問題点、 2 改善可能事項等	みよし市区画整理事業の動向次第では工事実施時期の調整が必要です。	
3 建設事業評価コメント	予算面については、関係部局と十分に協議し、円滑な予算執行をします。また 把握し手戻り等のないように努めます。	こ、みよし市の事業を
工事・路線名 (2)		
1 50 /5 0 10 1	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES 🗌 NO 🗌
1 評 価 の 視 点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES 🗌 NO 🗌
把握された問題点、 2 改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		
工事・路線名 (3)		
1 TO TO TO TO	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES NO
1 評価の視点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES NO
把握された問題点、 2 改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		
T /4 ·	<u> </u>	

IV. (Action)改革・改善の内容

	みよし市との調整を図り早期の事業着手をします。
改 善内 容 (課題への対応)	
(), (), ()	

事業No.:

361

I. 建設事業の目的体系

1	事 業 :	名	道路新記	直路新設改良事業(単独)						01	08	02	02	01
2	担当部	課	経済建設	設部		建設課								
2	上位の政策・施設	策	章	2	快適で活気	大項目	1	1 快適でうるおいのある暮らし						
٥	(目的体系の確認)	涊)	中項目	2	基盤整備	小項目	3	生活道路						

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人								
2	働きかける相手(対象)	道路								
3	どのような状態に したいのか(意図)	地域の生活道路を整備すること	也域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行が円滑になるようにします。							
	工事・路線名	牛廻間地区	井廻間地区 白土・涼松地区							
	工事期間	平成 13 年度~平成 24 年度	平成 21 年度~平成 27 年度	平成	年度~平成	年度				
	全体工事概要	工事延長L=981m 用地取得A=1,614㎡ 物件補償	工事延長L=25m 用地取得A=144.94㎡ 公社買戻し							
4 評価対象年度にどのようなことを実施	評価年度の実施内容									
いような	予 定 全 体 事 業 量 [A]	981.00 m	25.00 m							
ことを	評価年度までの 事業量 [Σa]	185.00 m	0.00 m							
美施しな	事業量の進捗率 [Σ a/A]	18.9 %	0%			%				
したのか	予定全体直接事業費 [B]	162,990,733 円	16,000,000 円			円				
	評価年度までの 直接事業費 [Σ b]	75,425,591 円	0円			円				
	事業費の進捗率 [Σ b/B]	46.3 %	0 %			%				
	評価年度の事業量 [a]	0.00 m	0.00 m							
	評価年度の 直接事業費[b]	0 円	0 円			円				
	事業量1単位当たり 直接事業費 [b/a]	0 円	0 円	В						
5	直接事業費計	前年度決算額	2,841,244 円 決 算 額			0 円				

事業№.: 361

6	項	目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
	直接事業費①	(2+3+4)	2,841,244	0	1,471,000
スト		一般財源②	2,841,244	0	1,471,000
の推移		起 債 ③	0	0	0
移		その他 ④	0	0	0
	概算人件	費 ⑤	3,092,153	2,507,534	
	総合計(①	+ ⑤)	5,933,397	2,507,534	
	町費投入額(2+3+5)	5,933,397	2,507,534	

改善内容 (課題への対応)

Ⅲ. (Check)建設事業の評価		
工事・路線名 (1)	牛廻間地区	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES ✓ NO 🗆
1 計 1曲 02 7元 点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES 🗹 NO 🗌
把握された問題点、 2 改善可能事項等	本格的な事業展開が図れるよう、計画的な事業執行を行います。また、用地類理解が得られるよう、関係部局と連携し進めます。	推航者に対して事業の
3 建設事業評価コメント	執行は慎重かつ迅速に、また事業全体を意識し計画的に執行します。	
工事·路線名 (2)	白土・涼松地区	
1 評 価 の 視 点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES ✓ NO 🗆
1 評価の視点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES ✓ NO 🗆
把握された問題点、 2 改善可能事項等	補助事業が終了したため、今後は単独事業として計画的に事業執行を行	ういます 。
3 建設事業評価コメント	予算の執行については、計画的に執行します。	
工事・路線名 (3)		
1 評 価 の 視 点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES 🗌 NO 🗌
1 計 1 0 分 元 点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES NO
把握された問題点、 2 改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		
IV. (Action)改革・改善の内容		

事業No.:

362

I. 建設事業の目的体系

1	事	業	名	道路新	設改」	良事業(補助)				コート゛	01	08	02	02	01
2	担	当 部	課	経済建	設部		建設課								
2	上位。	の政策・	施策	章	2	快適で活気	大項目	1	快適でうるおいのある暮らし						
٥	(目的	体系の	確認)	中項目	2	基盤整備	小項目	3	生活道路						

	(D0)建設事業の内容	>+++++++++++++++++++++++++++++++++++++							
1	誰のために(受益者)	道路を利用する人							
2	働きかける相手(対象)	道路							
3	どのような状態に したいのか(意図)	地域の生活道路を整備することに	域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行が円滑になるようにします。						
	工事・路線名	白土涼松地区							
	工事期間	平成 17 年度~平成 21 年度	平成 年度~	~平成 年度	平成	年度~平成	年度		
	全体工事概要	工事延長 L = 1, 272.0m							
4 評価対象年度にどのようなことを実施	評価年度の実施内容	工事施工 • L = 5 4 4 m							
ような	予定全体事業量 [A]	1,272.00 m							
ことを	評価年度までの 事業量 [Σa]	1,272.00 m							
美施した	事業量の進捗率 [Σ a/A]	100 %		%			%		
たのか	予定全体直接事業費 [B]	488,379,309 円		円			円		
	評価年度までの 直接事業費 [Σ b]	488,379,309 円		円			円		
	事業費の進捗率 [Σ b/B]	100 %		%			%		
	評価年度の事業量 [a]	544.00 m							
	評価年度の 直接事業費[b]	61,715,850 円		Ħ			円		
	事業量1単位当たり 直接事業費 [b/a]	113,448 円		円			円		
5	直接事業費計	前年度決算額	178,132,724 円	決 算 額		61,715,8	50 円		

6	項	目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
⊐	直接事業費①	(2+3+4)	178,132,724	61,715,850	0
スト		一般財源②	38,766,656	21,042,619	0
の推移		起 債 ③	89,000,000	35,705,000	0
移		その他 ④	50,366,068	4,968,231	0
	概算人件費⑤		19,436,387	6,686,757	
	総合計(①) + ⑤)	197,569,111	68,402,607	
	町費投入額(2+3+5)	147,203,043	63,434,376	

皿. (Check)建設事業の評価		
工事・路線名 (1)	白土涼松地区	
1 評 価 の 視 点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES ✓ NO 🗌
1 計 1 00 7元 点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES 🗹 NO 🗌
把握された問題点、 2 改善可能事項等	補助事業の完了に伴い今後は、単独事業として引き続き事業を実施する必要	ぎがあります。
3 建設事業評価コメント	白土涼松地区には、まだ未拡幅、未施工道路があり今後は交付金を活用し、があります。	事業実施をする必要
工事・路線名 (2)		
1 証 圧 の 担 上	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES 🗌 NO 🗌
1 評 価 の 視 点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES 🗌 NO 🗌
把握された問題点、 2 改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		
工事・路線名 (3)		
4 5T /T 0 48 b	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES 🗌 NO 🗌
1 評 価 の 視 点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES 🗌 NO 🗌
把握された問題点、 2 改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		
Ⅳ. (Action)改革・改善の内容		
改善善内容 (課題への対応)		

事業No.:

363

I. 建設事業の目的体系

1	事	業	名	公園緑	公園緑地築造事業				コート゛	01	08	04	02	03	
2	2 担 当 部 課 経済建設部 都市計画課														
2	上位の政	対策・対	施策	章	2	快適で活気あふれるまちづくり	大項目	1	快適でうる	おいの	ある	暮ら	し		
3	(目的体	系の	確認)	中項目	2	基盤整備	小項目	4	公園整備						

ш.	(Do)建設事業の内容									
1	誰のために(受益者)	町民及び公園利用者	T民及び公園利用者							
2	働きかける相手(対象)	公園施設等								
3	どのような状態に したいのか(意図)		園を設置、整備することにより、町民の生活環境向上の場の提供や災害時の一次避難地として スペースが確保されるようにします。							
	工事・路線名	三ツ池公園(0. 20ha)	白土第 1 公園 (0. 10ha)							
	工事期間	平成 20 年度~平成 21 年度	平成 19 年度~平成 21 年度	平成 年度~平成 年度						
	全体工事概要	H20: ワークショップ開催 基本計画策定 実施設計作成 H21:公園築造	H19: 用地購入(土公社) ワークショップ・基本計画策定 H20: 実施設計業務 H21: 公園築造 用地取得費償還							
4 評価対象年度にどのようなことを実施	評価年度の実施内容	築造工事を行いました。 ア 芝生広場、土広場、園路 イ ブランコ、滑り台、鉄棒、 砂場、水飲み 各1基 ウ 照明灯2基 エ ペンチ9基、野外卓2組 オ 四阿2基、花壇4箇所 等	(1) 築造工事を行いました。 ア 芝生広場、園路、植栽 イ 時計塔1基、照明灯2基 ウ ペンチ8基、縁台2基 エ パーコ゚ラ1基、四阿1基等 (2) 用地取得に係る償還金を 支払い、返済を完了しまし た。							
ようなこ	予定全体事業量 [A]	4.00 事業	5.00事業							
ことを	評価年度までの 事業量 [Σa]	4.00 事業	5.00事業							
表施した	事業量の進捗率 [Σ a/A]	100 %	100%	%						
たのか	予定全体直接事業費 [B]	36,024,450 円	93,688,321 円	Ħ						
	評価年度までの 直接事業費 [Σ b]	36,024,450 円	93,688,321 円	Ħ						
	事業費の進捗率 [Σ b/B]	100 %	100 %	%						
	評価年度の事業量 [a]	1.00事業	2.00事業							
	評価年度の 直接事業費[b]	33,640,950 円	90,791,697 円	円						
	事業量1単位当たり 直接事業費 [b/a]	33,640,950 円	45,395,849 円	円						
5	直接事業費計	前年度決算額	4,123,353 円 決 算 額	124,432,647 円						

6	項	目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
	直接事業費①	(2+3+4)	4,123,353	124,432,647	0
スト		一般財源②	1,589,421	26,905,928	0
の推移		起 債 ③	1,600,000	87,195,000	0
移		その他 ④	933,932	10,331,719	0
	概算人件	費 ⑤	3,075,812	2,565,498	
	総合計(①) + ⑤)	7,199,165	126,998,145	
	町費投入額(2+3+5)	6,265,233	116,666,426	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

エ事・路線名 (1)	三ツ池公園(0. 20ha)	
1 証 伍 の 担 上	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES 🗹 NO 🗌
1 評 価 の 視 点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES ✔ NO 🗌
把握された問題点、 2 改善可能事項等	世代間において公園の利用形態が異なるため、住み分けや利用についての、せ地域で整備していくことが必要と思われます。	ルールを地域にあわ
3 建設事業評価コメント	ワークショップ形式により策定した計画に基づき、地域住民の意見や要望等を 園を整備することができました。	考慮・反映された公
工事・路線名 (2)	白土第 1 公園 (0.10ha)	
1 == /T 0 +B b	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES ✔ NO 🗆
1 評 価 の 視 点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES ✔ NO □
把握された問題点、 2 改善可能事項等	世代間において公園の利用形態が異なるため、住み分けや利用についるわせ地域で整備していくことが必要と思われます。	てのルールを地域に
3 建設事業評価コメント	ワークショップ形式により策定した計画に基づき、地域住民の意見や された公園を整備することができました。	要望等を考慮・反映
工事・路線名 (3)		
. == /= 0 H2 H	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES NO
1 評 価 の 視 点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES NO
把握された問題点、 2 改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

IV. (Action)改革・改善の内容

	特にありません。
改善内容	
(課題への対応)	

事業№.:

364

I. 建設事業の目的体系

1	事	業	名	公共下:	公共下水道建設事業					コート゛	09	02	02	02	01
2	担	当 部	課	経済建	設部		下水道	課							
	上位	ⅳの政策・カ	施策	章	2	快適で活気あふれるまちづくり	大項目	1	快適でうる	おいの	ある	暮ら	L		
3	(目的	的体系の研	確認)	中項目	2	基盤整備	小項目	7	下水道						

	(DO)建設争来の内容					
1	誰のために(受益者)	下水道認可区域内の地権者及び	住民 ————————————————————————————————————			
2	働きかける相手(対象)	下水道認可区域内の受益地				
13	どのような状態に したいのか(意図)	公共用水域の水質が改善される。	ことにより、町民生活	舌の環境衛生	が向上されるようにし	ます。
	工事・路線名	建設事業費				
	工事期間	平成 1 年度~平成 25 年度	平成 年度~平原	或 年度	平成 年度~平成	年度
	全体工事概要	事業認可取得区域・市街化区 域516 h a の公共下水道の整備				
4 評価対象年度にどのようなことを実施	評価年度の実施内容	整備面積 11.4ha 整備延長 3.6km 接続件数 448件				
ような	予定全体事業量 [A]	516.00 ha				
ことを	評価年度までの 事業量 [Σa]	464.78 ha				
表施した	事業量の進捗率 [Σ a/A]	90.1 %		%		%
んのか	予定全体直接事業費 [B]	17,968,467,000 円		円		円
	評価年度までの 直接事業費 [Σ b]	14,242,050,331 円		円		円
	事業費の進捗率 [Σ b/B]	79.3 %		%		%
	評価年度の事業量 [a]	11.40 ha				
	評価年度の 直接事業費[b]	357,513,772 円		Ħ		円
	事業量1単位当たり 直接事業費 [b/a]	31,360,857 円		円		円
5	直接事業費計	前年度決算額	401,556,316 円	決算額	357,513	3,772 円

事業No.∶ 364

6	項	目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
	直接事業費①	(2+3+4)	401,556,316	357,513,772	385,755,000
スト		一般財源②	84,442,201	84,614,839	86,527,000
の推移		起 債 ③	168,100,000	175,800,000	190,200,000
移		その他 ④	149,014,115	97,098,933	109,028,000
	概算人件	費 ⑤	34,313,936	27,085,234	
	総合計(①	+ ⑤)	435,870,252	384,599,006	
	町費投入額(2+3+5)	286,856,137	287,500,073	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	建設事業費	
	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES ✔ NO □
1 評 価 の 視 点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES ✔ NO □
把握された問題点、 2 改善可能事項等	白土地区の面整備を重点的に実施しており計画通り事業が進捗しています。 えてきた為、補償費が増加し、ha当たりの整備単価が上昇しています。	幅員が狭い道路が増
3 建設事業評価コメント	公共用水域の水質改善が急務とされており、DID地区の下水道整備を早急に水道事業の工法等を検討しコスト縮減意識を持って、白土地区の一部の供用に完了するよう整備しました。	
工事・路線名 (2)		
4 = 7 / 7 - 0 / 10 - 1	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES 🗌 NO 🗌
1 評 価 の 視 点 	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES 🗌 NO 🗌
把握された問題点、 2 改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		
工事・路線名 (3)		
	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES NO
1 評 価 の 視 点	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES NO
把握された問題点、 2 改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		
-	·	

IV. (Action)改革・改善の内容

	補助事業費の縮減に伴い下水道事業費の確保が困難なため、関係機関と協議しつつ、工法及び施工方法等を検討しコスト縮減を目指します。
改善内容	
(課題への対応) 	